

【 小児看護学 】

授業科目	小児看護学概論		対象学年・時期	1年次・後期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	看護師 ★		講義時間	14
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 小児期にある対象を理解する 2. 小児看護の役割・機能を理解する 3. 母子保健、小児保健のあり方について理解する 4. 子どもの権利を保障することの必要性について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法	講義形態	
1回	1. 小児看護の対象	1) 小児看護の対象 (1) 発達からみた小児の区分 (2) 子どもの特徴 (3) 子どもと家族	講義	
2回	2. 小児看護の役割	2) 小児看護の役割 (1) 小児看護の目標 (2) 成長発達の支援 (3) 家族を含めた支援 3) 健康の保持・増進のための看護の場と活動 (1) 小児看護の場と看護の特徴	講義	
3回	3. 小児医療・小児看護の変遷	1) 小児医療・小児看護の変遷 (1) わが国における小児医療の歴史 (2) わが国における小児看護の歴史 (3) 小児看護・医療の課題と展望	講義	
4回 5回	4. 母子保健と小児保健	1) 小児の保健統計 (1) 出生と家族にかかわる統計 (2) 小児の死亡にかかわる統計 2) 母子保健の動向 (1) 母子保健と子育て支援	講義	
6回	6. 子どもの人権と看護	1) 医療現場で起こりやすい問題点 (1) 小児医療現場での意思決定の現状 (2) 子どもの意思決定・自己決定権 2) 子どもをとりまく社会の変化 (1) 子どもをとりまく社会問題 (2) 小児看護・医療にかかわる法律・制度	講義	
7回		3) 子どもの権利に関わる法規 (1) 子どもの権利条約の特徴と基本的な考え方 4) アドボカシー (1) 子どもの意思決定支援 (2) 親の意思決定支援 (3) 成長発達を支援する多職種協働という視点	講義	
評価方法	筆記試験			

テキスト	新体系看護学全書 小児看護学概論/小児保健 小児看護学①(メヂカルフレンド社)
参考文献	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学②(医学書院)

【小児看護学概論】

自己学習時間	30 時間	事前・事後学習	テキスト等で学習し、小児看護の理解を深める
--------	-------	---------	-----------------------

授業科目	子どもの成長・発達に応じた看護		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	29
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 子どもの成長発達について理解する 2. 子どもの成長・発達段階に応じた健康増進の看護について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法	講義形態	
1回 2回 3回 4回	1. 子どもの成長・発達	1) 成長・発達の概念 ・成長・発達とは ・成長・発達の原則 ・成長・発達の評価 2) 形態的成長・発達 3) 機能的発達 ・反射 ・粗大運動と微細運動 ・言語・視力・聴力 4) 心理・社会的発達 ・認知・思考・情緒・自己概念 ・社会性の発達 ・基本的生活習慣 ・小児看護における概念と理論 5) 性の発達 6) 子どもの発達課題	講義	
5回 6回 7回	2. 健康増進のための看護: 新生児期・乳児期	1) 新生児期・乳児期の健康増進のための看護 (1) 新生児・乳児期の特徴 ・形態的特徴・身体生理的特徴・機能的特徴 (2) 養育および看護 ・日常生活の世話・栄養・遊びの支援 (3) 感染予防と予防接種 (4) 新生児・乳児の子どもをもつ家族への看護	講義	
8回 9回	3. 健康増進のための看護: 幼児期	2) 幼児期の健康増進のための看護 (1) 幼児期の特徴 ・形態的特徴・身体生理的特徴・機能的特徴 (2) 養育および看護 ・基本的生活習慣の確立と世話・遊びの支援 (3) 感染予防と予防接種 (4) 幼児期の子どもをもつ家族への看護	講義	
10回 11回	4. 健康増進のための看護: 学童期	3) 学童期の健康増進のための看護 (1) 学童期の特徴 ・形態的特徴・身体生理的特徴・機能的特徴 (2) 学童をとりまく環境 (3) 養育および看護 ・生活習慣病の予防・疾病予防・学習と遊びの支援・食生活と食育 (4) 学校感染症の予防 (5) 仲間との関係や学校への適応 (6) 学童期の子どもをもつ家族への看護	講義	

12回	5. 健康増進のための看護:思春期	4) 思春期の健康増進のための看護 (1) 思春期・青年期の特徴 ・形態的特徴・身体生理的特徴・機能的特徴 (2) 生活の特徴 (3) 養育および看護 ・心理社会的適応に関する問題 ・反社会的・逸脱行動 ・心の発達への援助 ・性教育	講義
13回	6. 子どもに起こりやすい事故とその予防	1) 子どもの行動の特徴と子どもの事故・外傷 2) 発達段階に合わせた事故防止策	講義
14回	7. 子どもに合わせた遊びの援助	1) 子どもの発達段階と遊びの特徴 2) 発達段階に合わせた遊びの援助	講義 演習
15回	まとめ/終講試験		
評価方法	筆記試験 演習参加状況		
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学概論/小児保健 小児看護学①(メヂカルフレンド社)		
参考文献			

【子どもの成長・発達に応じた看護】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキスト等で学習し、小児看護の理解を深める
--------	------	---------	-----------------------

授業科目	健康障害のある子どもの看護		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	13
			テスト時間	1(45分)
学習目標	1. 健康障害が子どもや家族へ与える影響が理解でき、その援助方法について理解する 2. 子どもに起こりやすい健康障害を理解し、子ども及び家族への看護の方法を理解する 3. さまざまな状況にある健康障害を起こした子ども及び家族への援助について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回 2回	3. 経過・症状に応じた子どもと家族の看護①	1) 急性期にある子どもと家族の看護 (1) 急性期にある子どもの特徴 (2) 急性状態が子どもに与える影響 (3) 急性症状に対する看護 痛み・発熱・嘔吐・下痢・脱水 など		講義
3回	4. 経過・症状に応じた子どもと家族の看護②	2) 慢性的な疾患・障害がある子どもと家族の看護 (1) 慢性的な経過をたどる疾患の特徴と治療 (2) 慢性状態が子どもに与える影響(各発達段階) (3) 疾患による子どもと家族の生活の変化		講義
4回 5回		(4) 在宅・地域で医療的ケアを必要とする子どもと家族の看護 医療的ケア: 経管栄養法・気管切開・酸素療法 人工呼吸器療法・自己導尿など (5) 成人期への移行を目指した支援 疾患: 1型糖尿病・心疾患・腎疾患・脳性麻痺など		講義
6回	5. 経過・症状に応じた子どもと家族の看護③	3) 終末期にある子どもと家族の看護 (1) 子どもの終末期の特徴 (2) 子どもの発達段階別の生命・死の捉え方 (3) 子どもの体験している症状の緩和 (4) 子どもと親の意思決定に向けての支援 (5) 子どもを亡くした家族へのケア		講義
	6. 経過・症状に応じた子どもと家族の看護④	4) 外来における子どもと家族の看護 (1) 外来の特徴と看護の役割 (2) 外来を受診する子どもと家族の特徴と看護		講義
7回	まとめ／終講試験			
評価方法	筆記試験			
テキスト	新体系看護学全書 健康障害をもつ小児の看護 小児看護学②(メヂカルフレンド社)			
参考文献				

【健康障害のある子どもの看護】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキスト等で学習し、小児看護の理解を深める
--------	------	---------	-----------------------

授業科目	健康障害のある子どもの看護		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	12
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 健康障害が子どもや家族へ与える影響が理解でき、その援助方法について理解する 2. 子どもに起こりやすい健康障害を理解し、子ども及び家族への看護の方法を理解する 3. さまざまな状況にある健康障害を起こした子ども及び家族への援助について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	1. 健康障害をもつ子どもと家族の特徴①	1) 病気や入院が子どもに与える影響と看護 (1) 各発達段階における病気・障害の理解と反応 (2) 発達に応じた病気の説明・インフォームドアセント 2) 病気や入院が家族に及ぼす影響と看護 (1) 子どもの病気・障害に対する家族の反応		講義
2回 3回	2. 健康障害をもつ子どもと家族の特徴②	3) 健康問題をもつ子どもと家族の看護の方向性 4) 発達段階に応じた看護(代表的な疾患) ・乳児期－肺炎・熱性けいれん ・幼児期－川崎病・喘息 ・学童期－白血病 ・思春期・青年期－起立性調節障害・骨折		講義
4回	7. 特別な状況にある子どもと家族の看護①	1) 隔離を要する子どもと家族の看護 2) 活動制限を受ける子どもと家族の看護 (1) 隔離・活動制限の目的と方法 (2) 隔離・活動制限による身体的・社会的影響 (3) 発達に応じた日常生活への援助と家族への支援 3) 検査・処置を受ける子どもと家族のへの看護 ・子どもへの説明と同意 ・プレパレーション ・与薬・採血・輸液・呼吸症状の緩和・穿刺など		講義
5回	8. 特別な状況にある子どもと家族の看護②	4) 手術を受ける子どもと家族の看護 (1) 小児期の手術の特徴 (2) 手術が子どもに与える影響 (3) 手術を受ける子どもの家族の反応 (4) 手術前・中・後の看護 (5) 退院に向けての支援		講義
6回	11. 特別な状況にある子どもと家族の看護⑤	8) 虐待を受けている子どもの看護 (1) 子どもへの虐待の特徴と現状 (2) 虐待のリスク要因と早期発見 (妊娠期・乳幼児期・学童期) (3) 虐待を受けた子どもに対するケア 9) 災害を受けた子どもの看護 (1) 災害による子どもへの影響 (2) 災害に遭遇した子どもと家族への援助		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	新体系看護学全書 健康障害をもつ小児の看護 小児看護学②(メヂカルフレンド社)			
参考文献				

【健康障害のある子どもの看護】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキスト等で学習し、小児看護の理解を深める
--------	------	---------	-----------------------

授業科目	健康障害のある子どもの看護		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師		講義時間	4
			テスト時間	試験別
学習目標	1. 健康障害が子どもや家族へ与える影響が理解でき、その援助方法について理解する 2. 子どもに起こりやすい健康障害を理解し、子ども及び家族への看護の方法を理解する 3. さまざまな状況にある健康障害を起こした子ども及び家族への援助について理解する			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	9. 特別な状況にある子どもと家族の看護③	5) 健康障害をもつ新生児と家族の看護 (1) ハイリスク新生児の特徴と要因 (2) 集中治療における援助 (3) 親子・家族関係確立への支援と長期フォローアップ 6) 先天異常をもつ子どもと家族の看護 (1) 先天異常の種類と特徴 (2) 発達段階に応じた援助 (3) 養育とケア技術指導に関する家族への援助と生活調整への支援		講義
2回	10. 特別な状況にある子どもと家族の看護④	7) 重症心身障害児と家族の看護 (1) 心身障害の定義と種類 (2) 障害のある子どもと家族の特徴 (3) 障害のある子どもの発達段階に応じた看護 (4) 障害のある子どもと家族の社会的支援		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	新体系看護学全書 健康障害をもつ小児の看護 小児看護学②(メヂカルフレンド社)			
参考文献				

【健康障害のある子どもの看護】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキスト等で学習し、小児看護の理解を深める
--------	------	---------	-----------------------

授業科目	小児看護学演習		対象学年・時期	2年次・後期
			単位数	1
			時間数	30
講師名	看護師 ★		講義時間	30
			テスト時間	課題評価
学習目標	1. 子どもの成長・発達についてアセスメントできる 2. 病気や入院が子どもや家族に与える影響とその看護を理解する 3. 子どもに対する基本的看護技術の習得ができる			
回数	主題	学習内容及び方法		講義形態
1回	1. 病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護①	1) 病気や入院が子どもに与える影響 2) 子どもの病気の理解と受容 3) 子どもにあった入院環境 4) 入院適応に向けての看護		講義
2回	1. 病気や入院が子どもと家族に与える影響とその看護② 2. 発育・発達の評価	1) 子どものアセスメントの視点について 2) 情報の整理【事例】(2事例) (1) 病気や入院が子どもに与える影響のアセスメント (2) 健康障害をもつ小児の身体発育・機能的発達・心理社会的発達のアセスメント		講義 演習
3～4回		3) 情報の整理と分析【事例】		演習
5～6回		4) 関連図・看護問題の明確化【事例】 5) 看護計画立案【事例】		演習
7～9回	3. 小児看護に必要な技術	1) コミュニケーション技術 (1) 発達段階に応じたコミュニケーションの特徴 (2) 言語・非言語を含めたコミュニケーションの方法 2) 発達に応じた説明と同意 (1) 検査を受ける小児へのプレパレーション 3) 遊びへの援助 (1) 発達段階や安静度に応じた遊び		演習
10～11回		2) 小児のフィジカルアセスメント (1) バイタルサイン測定 (2) 身体測定		演習
12～14回		4) 診療に伴う援助技術 (1) 小児の与薬(内服・座薬・吸入) (2) 吸引 (3) 採血 (4) 採尿 (5) 酸素療法 (6) 点滴		演習 *アクティブラーニング
15回		7) 成長・発達に応じた子どもの安全管理 (1) 小児用ベッドの安全 (2) KYTシート		講義
評価方法	演習課題 演習参加状況			
テキスト	新体系看護学全書 小児看護学① 小児看護学概論／小児保健 (メヂカルフレンド社) 新体系看護学全書 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 (メヂカルフレンド社)			
参考文献	写真でわかる小児看護技術 (インターメディカ)			

【小児看護学演習】

自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキスト等で事前学習、事後学習を行い、小児看護の理解を深める
--------	------	---------	--------------------------------

授業科目	小児看護学実習	対象学年・時期	3年次・前期
		単位数	2
		時間数	90
実習目的	1. 小児の身体的・精神的・社会的な成長・発達の実際を理解する 2. 基本的な生活習慣の自立に応じた児への関わり方を理解する 3. 保育施設と家庭との連携の実際を理解する 4. 保育所で行われている安全管理・健康管理を理解する 5. 健康障害を持つ子どもとその家族の特性を理解する 6. 健康障害を持つ子どもに必要な看護援助を発達段階との関連で考えることができる 7. 子どもと親の双方の健康問題を明確化し、発達段階に合わせて援助できる 8. 小児看護における保健・医療・福祉の連携と看護師の役割を理解する 9. 小児看護にかかわる専門職としての基本的姿勢や倫理的態度を習得する		
	実習目標及び内容		
	保育所実習 1) 小児が生活する保育環境を理解する (1) 保育所の日常の流れと、安全・健康管理状況について記述する (2) 保育所と家庭の連携について記述する 2) 小児の成長・発達状況を理解する (1) 乳幼児期の各年齢における身体的・精神的・社会的な成長・発達について記述する 3) 基本的な生活習慣の獲得状況を理解し自立に向けて支援する (1) 乳幼児期の各年齢における基本的な生活習慣について記述する (2) 乳幼児の成長発達に応じた日常生活行動自立のための保育に参加する 4) 成長・発達に応じた小児との接し方を工夫し乳幼児と接することができる (1) 乳幼児とのかかわり方、コミュニケーションを工夫し接する (2) 乳幼児の意思および考えを尊重する (3) 乳幼児の成長・発達に応じた遊びの環境づくりと援助を実施する (4) 子どもにとっての遊びの意味を考察する 5) 保育所における小児への安全面の配慮が理解できる (1) 乳幼児の成長・発達に応じた事故防止について記述する		
評価方法			

授業科目	小児看護学実習	対象学年・時期	3年次・前期
		単位数	2
		時間数	90
実習目的			
	実習目標及び内容		
	<p>病棟実習</p> <p>1) 健康障害のある小児とその家族について理解できる</p> <p>(1) 受持ち児の身体的・精神的・社会的側面の成長発達段階について記述(説明)する</p> <p>(2) 受持ち児の日常生活行動について記述(説明)する</p> <p>(3) 受持ち児の病態を器質的・機能的に記述(説明)する</p> <p>(4) 受持ち児の疾患にともなう治療・検査・処置の目的・方法を記述(説明)する</p> <p>(5) 入院や病気が受持ち児と家族に及ぼす影響について記述(説明)する</p> <p>2) 対象の健康状態や成長・発達を考慮した日常生活援助を実践する</p> <p>(1) 受持ち児の望ましい状態を考え、看護問題を抽出する</p> <p>(2) 受持ち児の成長発達を踏まえた具体策を立案する</p> <p>(3) 受持ち児の発達段階を踏まえて、安全・安楽・自立を考慮した援助を実施する</p> <p>(4) 受持ち児に合わせたバイタルサイン測定を実施する</p> <p>(5) 受持ち児への説明・プレパレーションを実施する</p> <p>(6) 診療に伴う看護技術を実施する</p> <p>3) 小児の安全・安楽を守るための援助を実践する</p> <p>(1) 受持ち児の事故防止を実施する</p> <p>(2) 小児病棟における感染予防対策に基づいた行動がとれる</p> <p>4) 小児看護における保健・医療・福祉の連携と看護が理解できる</p> <p>(1) 受持ち児・家族への保健指導の必要性を記述(説明)する</p> <p>(2) 子どもを虐待から守るための援助の必要性について考察する</p> <p>5) 子どもを尊重した看護が理解できる</p> <p>(1) 子どもを尊重し、誠実な態度で関わる</p>		
評価方法	評価表による評価		